

。○。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2015. 3. 16

下水道機構の『新技術情報』 第181号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。○。

最近のマイブームは、駅から機構までの間のマンホールふたのチェックです。当たり前のことかもしれませんが、下水道、水道、ガス、通信、消火栓など実に様々なふたが多くあり、私たちの生活は地下に支えられているなあとしみじみ。あっそれと地下鉄なしでは機構には通勤できませんし。縁の下の「地下」らもち？

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第181号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・2015 下水道防災シンポジウム in 仙台に参加します！
- ・3/10（火）に平成26年度審査証明書交付式を開催しました

■機構の動き

- ・今週は、3/19(木)に評議員会、高度処理ナレッジ創造戦略会議を開催します

■Tea Break

- ・道の駅巡り（A. K生さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

・今回は、下水道協会より「日米下水道シンポジウム聴講募集」についてのお知らせです！

■国からの情報

- ・3/13付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。○。○。

●2015 下水道機構は、下水道防災シンポジウム in 仙台に参加します！

3月14日～3月18日にかけて仙台市で開催される「第3回国連防災世界会議」に

合わせ、東日本大震災から得られた経験と教訓を広く世界に発信するとともに、国内外からの様々な支援に感謝の意を伝えるため、「2015 下水道防災シンポジウム in 仙台 3月16日から19日」が開催されます。

当機構は、3月17日にAER情報産業プラザにて行われるシンポジウムの事例発表プログラムにおいて、当機構の紹介や防災に関係する研究事例紹介を行います。また、3月16日(月)～3月18日(水)に仙台市南蒲生浄化センター汚泥処理棟において一般公開される下水道展示コーナーに出展します。

※詳細はこちら

http://www.city.sendai.jp/sumiyoi/lifeline/gesui/1215964_1587.html

●3/10(火)に平成26年度審査証明書交付式を開催しました

今回は、去る1月29日に開催された第2回建設技術審査証明委員会(委員長:楠田哲也九州大学名誉教授)において答申を受けました43技術(新規技術9件、変更技術17件、更新技術17件)の依頼者に対して、石川理事長より審査証明書が交付されました。

新規技術9件の内訳は、汚泥処理設備3件、その他設備等2件、資器材2件、更生・修繕技術2件となっています。

※詳細はこちら

<http://www.jiwet.or.jp/news/43%e4%bb%b6%e6%8a%80%e8%a1%93%e3%81%ab%e5%bb%ba%e8%a8%ad%e6%8a%80%e8%a1%93%e5%af%a9%e6%9f%bb%e8%a8%bc%e6%98%8e%e6%9b%b8%e3%81%8c%e4%ba%a4%e4%bb%98%e3%81%95%e3%82%8c%e3%81%be%e3%81%97%e3%81%9f>

_____。○○。

機構の動き (機構の行事予定です)

○○○。_____

●平成27年3月19日(木)15:00～16:30

行 事: 第5回 評議員会

場 所: 機構8階 特別会議室

内 容: 平成27年度事業計画と収支 予算等

●平成27年3月19日(木)13:00～15:00

行 事: 第3回高度処理ナレッジ創造戦略会議

場 所: 機構8階 中会議室

案 件: 段階的・高度処理普及ガイドライン(案)について

○平成27年3月31日(木)13:00～14:00

行 事: 平成26年度 新技術研究成果証明書交付式

場 所: 機構8階 中会議室

案 件: 管きよの長寿命化を目的とした部分改築工法の開発に 関する共同研究
下水道用マンホール改築・修繕工法に関する共同研究

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●道の駅巡り (A. K生さんからの投稿です)

ここ最近、一般道路にあるサービスエリアの道の駅巡りに凝っている。

これまで、関東にある道の駅 30 か所ほど訪ねたが、温泉入浴ができる道の駅など、施設にそれぞれの特色があってなかなか面白い。また、どこの道の駅も共通して言えるのが、地元の農産物や名産品などの物販コーナーが充実していることである。何といても楽しみは、地元の新鮮な野菜や海産物などが安く買える。そして、もう一つの楽しみは、ご当地ならではの食べ物や自慢のB級グルメとの出会いである。

関東には 156 か所の道の駅があるそうだ。まだ訪ねていない 120 か所余りは 4~5 年かけて、ひと月に 2~3 か所という計算になるが、何とか達成したいと思っている。道の駅巡り、自分にはいい気分転換になっている。

。○○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○○。

●今回は、下水道協会様より「日米下水道シンポジウム聴講募集」についてのお知らせです！

日本下水道協会では、WEF (水環境連盟) 会長 Ed McCormick 氏を招聘し、シンポジウムを開催致します。

McCormick 氏は、アメリカ・サンフランシスコ湾に位置する下水処理場 (140 万人規模) でエネルギー自立を達成させた責任者です。昨年秋より WEF 会長に就任し、活躍中です。

- ・日時 4月23日(木) 14:00-17:00
- ・場所 東京国際フォーラムガラス棟 G701
- ・テーマ 下水処理場のエネルギー自立に向けて
- ・講演者 WEF 会長 Ed McCormick 氏 (兼パネリスト)
国土交通省下水道部長 塩路 勝久氏
- ・パネリスト 国土交通省下水道事業調整官 植松 龍二氏
東京都下水道局計画調整部長 坂根 良平氏
メタウォーター株式会社新事業技術部長 岡本 裕三氏
- ・言語 日・英 (同時通訳付)
- ・申込対象 本会会員 (無料)

プログラムは下記リンクから↓↓↓

<http://www.jswa.jp/wp/wp->

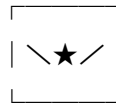
[content/uploads/2015/03/78d0a586446b03f63896f21b2d8902e4.pdf](http://www.jswa.jp/wp/wp-content/uploads/2015/03/78d0a586446b03f63896f21b2d8902e4.pdf)

申込は、日本下水道協会国際課まで→ (kokusai@ngsk.or.jp)

(所属先役職名、氏名、電話番号、メールアドレスを記載下さい。開封通知メッセージを添付下さい。)

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション (2015.3.13 付 国からの最新情報です)
送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀
=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

- 「大阪のデザインマンホール蓋」特集【国土交通省近畿地方整備局】
- 下水道マンホールを利用した福岡市動植物園デザインマンホールが完成【福岡市】
- 水・環境ソリューションハブ(WES Hub)への新規登録地方公共団体の登録証授与式の開催について【国土交通省】
- 下水道分野における ISO55001 適用ユーザーズガイド説明会のご案内【国土交通省】
- 雨水の利用の推進に関する基本方針等の策定について【国土交通省】
- 『水災害分野における気候変動適応策のあり方について』中間とりまとめの公表【国土交通省】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

- 「大阪のデザインマンホール蓋」特集【国土交通省近畿地方整備局】
デザインマンホール蓋のブームと大阪府下のマンホール蓋のデザインを中心に紹介

されています。記事は下記電子版 URL を参照下さい。

<http://www.sankei.com/west/news/150307/wst1503070010-n1.html>

●下水道マンホールを利用した福岡市動植物園デザインマンホールが完成【福岡市】

福岡市では、入園者数の増加に伴う周辺道路の渋滞問題の解決策として、公共交通機関の利用促進のために、地下鉄薬院大通駅から動植物園へ向かう浄水通りに“下水道マンホール”を利用した案内サインを設置します。この“下水道マンホール”を利用した案内サイン設置を記念したウォークラリーイベントも開催します。

→福岡市動物園HP <http://zoo.city.fukuoka.lg.jp/news/detail/602>

→朝日新聞 <http://www.asahi.com/articles/ASH363RZKH36TIPE007.html>

●水・環境ソリューションハブ(WES Hub)への新規登録地方公共団体の登録証授与式の開催について【国土交通省】

国土交通省では、平成 24 年 4 月に水・環境ソリューションハブ(WES Hub)を発足させ、諸外国との交流を通じて、我が国の下水道事業運営ノウハウを提供してきました。

平成 27 年 2 月 26 日に開催した、水・環境ソリューションハブ運営委員会（座長：山田 淳 立命館大学 名誉教授）において、WES Hub への新規登録申請を行った仙台市の申請内容を審査した結果、同市の新規登録が認められました。この度、下記の通り登録証授与式を行いますのでお知らせします。

・日時：平成 27 年 3 月 18 日（水）15:50~16:00（予定）

※下記 HP「2015 下水道防災シンポジウム in 仙台（別添 3 参照）」内で登録証授与式を開催・場所：仙台市民会館 小ホール

・出席者（予定）：仙台市副市長 稲葉 信義、国土交通省水管理・国土保全局下水道部長 塩路 勝久詳細は、下記国土交通省下水道部HPをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000361.html

●下水道分野における ISO55001 適用ユーザーズガイド説明会のご案内【国土交通省】

平成 26 年 1 月に、アセットマネジメントシステムを対象とした国際規格 ISO55000 シリーズが発行されたことを受けて、国土交通省下水道部では、平成 26 年 3 月に、「下水道分野における ISO55001 適用ユーザーズガイド（素案改訂版）」を公表いたしました。平成 26 年度も、引き続き、地方公共団体等を対象とした試行認証を実施し、このプロセスを経て得られた知見等に基づき、「下水道分野における ISO55001 適用ユーザーズガイド（案）」を改訂いたしました。国土交通省としては、このユーザーズガイドを参照しながら、アセットマネジメントシステムを導入して頂くことにより、多くの地方公共団体に持続可能でより質の高いサービスを提供する下水道事業を実現していただきたいと考えています。この度、ユーザーズガイドの公表にあたり、大阪・東京の 2 会場にて説明会を開催いたしますので、ご案内いたします。

詳細及び申込方法については、下記国土交通省下水道部HPをご参照ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000362.html

●雨水の利用の推進に関する基本方針等の策定について【国土交通省】

雨水の利用の推進に関する法律（平成26年法律第17号）第10条の規定に基づき、「国及び独立行政法人等が建築物を整備する場合における自らの雨水の利用のための施設の設置に関する目標」が、平成27年3月10日（火）に閣議決定されました。また、同法第7条の規定に基づき、国土交通大臣は、「雨水の利用の推進に関する基本方針」を定めましたので、お知らせいたします。今後、国は、本基本方針に従い、雨水の利用の推進に関するガイドラインの策定や、下水道における雨水の利用のための施設に係る規格等の調査研究等を推進します。地方公共団体等におかれては、本基本方針を参考として、雨水の利用の推進に努めていただくようお願いします。詳細は以下URLを参照お願いします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/water01_hh_000081.html

●『水災害分野における気候変動適応策のあり方について』中間とりまとめの公表【国土交通省】

社会資本整備審議会河川分科会気候変動に適應した治水対策検討小委員会（委員長：福岡捷二中央大学研究開発機構教授）にて、平成26年1月より10回にわたり審議が行われ、2月27日に、「水災害分野における気候変動適応策のあり方について～災害リスク情報と危機感を共有し、減災に取り組む社会へ～中間とりまとめ」が公表されました。水害（洪水、内水、高潮）に対する適応策や、雨水・再生水利用等の渇水に対する適応策等が提言されています。今後、平成27年夏頃を目処に、政府全体の「適応計画」を策定する予定となっています。

詳細は以下URLを参照お願いします。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000870.html

=====

◆帯広の技術、スリランカへ…汚水処理システム〈3/6 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/hokkaido/news/20150306-0YTNT50008.html>

◆東日本大震災4年、液状化対策工事本格化の浦安市に「住民合意」ハードル〈3/7 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/150307/rgn1503070053-n1.html>

◆長野県が第3次地震被害想定 糸静構造線で死者最大7000人以上予測〈3/7 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/150307/rgn1503070013-n1.html>

◆足元に注目、大阪ご当地マンホール アイデア勝負、ブーム拡大！？〈3/8 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/150308/rgn1503080006-n1.html>

◆福岡市動植物園、駅からの歩道に「動物マンホール」設置〈3/10 天神経済新聞〉

<http://tenjin.keizai.biz/headline/photo/4866/>

◆備えは「水」 すぐ高台へ 防災講座に170人〈3/10 苫小牧民報社〉

<http://www.tomamin.co.jp/20150323050>

◆人口減や財政難で公共下水道の全体計画縮小 白浜町〈3/10 紀伊民報〉

<http://www.agara.co.jp/modules/dailynews/article.php?storyid=290499>

◆秋山川浄化センター発電事業で栃木県が特別目的会社と契約〈3/11 産経ニュース〉

<http://www.sankei.com/region/news/150311/rgn1503110033-n1.html>

◆浦、安かれ 千葉の戦後70年(1) 液状化 埋め立て地襲う〈3/12 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/20150312/CK2015031202000171.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20141031/seikai7.pdf>
